

第2回 URCRAS 研究大会

1. 開催概要

日時：2024年5月19日（日）13:00~17:00

場所：大和大学社会学部棟 E401（控室）、E402（発表会場）

主催：国際ラーメン学会（URCRAS）

共催：すいたライジングサン 100 イベント実行委員会

2. プログラム：

13:00~13:30 開会式（30分）

13:00~13:10（10分）

- ・油井清光（大和大学社会学部特任教授）

「これからの食文化研究における社会学的位置付け」

Sociological position in future food culture research

13:20~13:30（20分）

- ・立花晃（大和大学社会学部）

「食文化都市吹田のユネスコ創造都市ネットワーク認定加盟に向けて」

Suita, a city of gastronomy, aims to become a member of the UNESCO Creative Cities Network.

13:30~14:00 基調講演

- ・安井大輔（立命館大学 食マネジメント学部）

「文化遺産としての和食」

Washoku as Heritage and National Identity

14:00~16:00 研究発表（1人20分発表、質疑5分程度）

14:00~14:30

- ・福田美紀（大和大学社会学部）

「ラーメンの嗜好性と行動傾向ーラーメン発展期とご当地間比較を通してー」

Ramen preference and behavioral tendencies ーThrough generation and inter-regional comparisonsー

14:30~15:00

- ・長須正明（曲阜師範大学翻訳学院日語系）

「ラーメンは日本の国民食と言えるか?ー初の全国サンプリング調査結果からー」

A Survey on Ramen Consumption Behavior and Preference in Japan

15:00~15:30

- ・松林薫（大和大学社会学部）

「カニカマはなぜ世界に広がったのかー貿易摩擦と食のグローバル化」

"Why Did Kanikama (Imitation Crab Meat) Spread Globally?--Trade Frictions and. the Globalization of Food--"

15:30～16:00

- ・ 増本貴士 (大和大学社会学部)
「吹田の食のラテラルマーケティング」
Lateral Marketing of Suita's Food

16:00～16:30

- ・ 小嶋奈名子 (大和大学社会学部)
「地域飲食店と SDG's 活動の実践——地域から世界へ「蔵前モデル」の挑戦」
Local Cafes and Practice for SDG's Activities: Challenge of "KURAMAE Model" from Local to Global

16:30～17:00 自由討論・総括 (30分)

17:00～17:15 閉会式 (15分)

5月19日(日) 12時から18時まで

参加 Zoom ミーティング

<https://zoom.us/j/97393222479?pwd=czBwV01JL2tlYjN5QkZSaDE2cjlJZz09>

ミーティング ID: 973 9322 2479

パスコード: 56513